

明 照 会 大正 7 年 9 月 19 日 創 立	第 157 号 令 和 元 年 6 月 20 日
社 会 福 祉 法 人 上 田 明 照 会 <small>じょうぶこくど じょうじゆしゅじょう</small> 浄 仏 国 土 成 就 衆 生 (法 人 設 立 理 念)	ニ ュ ー ス 平 成 15 年 4 月 7 日 創 刊

～新元号令和を迎えて～

明照会 100 年の歴史を築いていただいた一人、住吉寮長・慈光園長を務められた竹内吉正先生が、『月刊 福祉施設士』の昭和 63 年 3 月号に、“私の出会いー福祉を築いた人々”として初代会長を取り上げている。創立百年史にも載せたいと捜していたが、間に“合わなかった。少々長いが、新たな一歩、一年として、職員皆さんに読んでいただきたい。



会長 横内浄真

常に探求を続けた教育者：横内浄音師

今私は、上田市にある聖ミカエル及諸天使教会宣教 80 年、同礼拝堂聖別 50 年史の編集に当たっている。自分史的にまとめたたいと試みているが、その 50 年間に黙々と歩んできた水藤繁次司祭の足跡に強く心打たれる。司祭の粗末な居室に、立派な額が飾られている。故横内浄音師である。

水藤司祭は日本聖公会の教役者で、純然たるクリスチャン。私自身もこの教会信徒としてソーシャルワーカーの役割を持ち、洗礼を受けた。司祭が最も力を注いだ宣教の営みは、与えられた地域社会の要求に仕える乳幼児保育であった。キリスト教界のおおむねが幼児教育の領域に傾く中で、宗教法人のまま保育所を位置づけてきた司祭の思いには横内浄音師のアイデンティティ(社会的立脚の基盤)が深く長く関わっていたことを知る。

師は「上田明照会設立の趣旨」に次のように綴っている。「(1918 年)当時の仏教寺院の状態は伝統因襲仏陀の教示、法然上人の念仏極楽往生の大精神が現実の生活に生かされていないのではないか。東洋殊に日本文化の基盤となっている仏教が誤り伝えられている現状を見るに忍びず、仏教に対する誤りを正し、真実信仰生活に生きるのが仏教徒の使命でなくてはならない。学窓に螢雪を重ねた青年僧のなすべき急務であることを自覚したので浄仏国土、成就衆生を理念とする同志によって、厚生福祉社会実現を最大の眼目として」とある。後年、増上寺法主、椎尾弁匡大僧正は横内師の実践を励ます文章を寄せている。「仏法は文字ではない。人間の真生活である。法悦は聴聞のものずきではない。今生き、今働くことが、うれしい事と受け取れることが、仏道を為した仏というのであり、往生したというのである」と。

●幼児期からの宗教教育に傾倒

1970 年、師が会長の座を静雄師に託し名誉会長として見守る立場になっても、保育所甘露園長職にはとどまった。幼児教育に集中する師の願望は、いったい何だったのだろうか。

水藤司祭が共鳴する視点のひとつは、ここにあると思う。キリスト者聖パウロにとってキリスト教倫理のひとつは『相違の倫理』であった。相違というのは、クリスチャンが神に自分をささげ、献身している点にある。しかし相違は、世俗の中にとどまって、しかも他とは違う特殊性を持っている姿なのであろう。乳幼児期に徹底した宗教教育を位置づけた横内師、水藤司祭が互いに共感を呼び、常に協働の喜びを分かち合った原点は、このあたりに存在したのではないだろうか。

●地域住民の率直な要求を把握

横内師はまた綴っている。「明照会創立の頃(1918 年)、両性間の関係について世間の目は厳しく、修養会(福祉教育学習)の集いも男女共学を避け、交互別々に毎週開き、伸びやかな信仰生活を描くため、元音楽担当教諭の指導を得て歌劇や当時流行の家庭踊り、弾琴の合奏、関西方面の神社仏閣参拝旅行などを試み、信仰は特別の行事でなく、いちにちの業務に喜びと感謝ができる精進生活そのものであることの体験学習に努めた」と実践に入る前の段階『修養(学習)の時代』の事が綴られている。

1919 年子供会(日曜学校)が開かれ、1922 年乳幼児無料健康相談、育児思想高揚のための健康児審査会(1924 年)、働く母親への手助けとして託児所を設置(1926 年)。その資金集めに市内映画館入場券の斡旋、賛助会員の篤志会費、婦人部の縁日バザー、蚕糸専門学校教授夫人を中心に不用品交換、市長夫人グループの協力費、編物・子供服講習の開催等と創意工夫が続いた。

これらの経過の中で地域住民の率直な要求把握の背景は、横内師が僧侶として、きめ細かく檀家訪問する過程で形成されていった。修養(学習)を終えた同志は、医師を核とした教師集団とも言える信者層であり、その技術や学識を貴重な社会資源として統合、組織化し、遂に保育所、母子寮、精神薄弱児通園施設、精薄者通所、授産、更生施設この総合運営をする法人構想が築かれるに至った。これらのプロセスの中で調整的役割(コーディネーター)を果たしたのが横内師であった。正にすばらしいコミュニティオーガニゼーション実現の業績でもある。聖パウロにとってキリスト教倫理の他のひとつは『コミュニティ倫理』だった。「愛」「奉仕」「ゆるし」といった崇高な徳は、社会の共同体という認識の中であって、はじめて実行できるもの。孤立するのではなく、人と人との関わりを大切にしていこうこそ、聖パウロのいう倫理の基盤であるといわれる。私は、横内浄音師が唱え続けてきた“浄仏国土、成就衆生”の理念とは、宗教宗派を越えた共通のビジョンを指しているものと考え。偉大な僧侶であり貴重な事業家であり、常に探求を続けた教育者である師に出会えたことを感謝したい。1977 年秋、師は呈蓮寺本堂の一室に静かに逝去された。

(S63.3 月刊福祉施設士/竹内吉正)

事業所紹介 甘露保育園



初代浄音会長は、社会環境の浄化は児童の健全育成に始るとし、子供会（日曜学校）の設立などの流れの中で、1926年（大正15年）5月に甘露園（現在は甘露保育園）は開設されました。

その後、たくさんの歴史を刻みながら2017年4月には法人創立百周年記念事業として園舎が新しく生まれかわりました。



甘露保育園の取組み

○子どもの主体性を尊重した保育の充実

子どもたちが自らの意思で「選んで」「考えて」「試して」ができる環境、子どもの興味関心に合わせた保育の展開、様々な子どもの段階を大切に「ともに育ち合う」保育を目指します。

○ご家族との協働関係の築き

ご家族との日々のやり取りを丁寧に行い、情報の共有に努めます。保育士の他に看護師や管理栄養士とともに子育てをサポートします。

○食べることは生きること

自園給食による給食の提供を通し、食体験を深めます。園内外の畑作りを行い、自らが食べる食材に触れる体験、クッキングを通して、食事への関心を深めます。

○地域の皆さんとの交流

地域の中で体験をつんでいきます。法人事業所の大人の皆さんと農作業や交流を深めます。定期的に「かんかん広場」（地域交流として未就園児のお友だちが遊びに来ています。）を開催し、地域の子育てのお手伝いをします。

名称：甘露保育園
所在地：上田市中央5-9-29
定員：90名
電話：0268-22-7665
種別：保育所



5月8日（水）に『花まつり』の行事がありました。『花まつり』は、お釈迦様の誕生日を祝う行事です。たくさんの花を飾り、誕生仏に甘茶をかけ、白象を引いて祝います。年長児は稚児行列に参加したり、お釈迦様の聖劇を発表したりします。



先日は同法人、ともいきライブ住吉の畑を使って利用者さんと一緒にさつまいもの苗植えをしました。おいしいおいもができるように心を込めて苗植えができました。

「子どもたちの一日」

7:00	9:00	11:30	14:30	19:00
おはよう	主活動 さんぽ 室内遊び	給食	お昼寝 おやつ	降園 また明日 (土曜18:30)



事業所紹介 蓮の音こども園



蓮の音こども園は、児童発達支援センターとして「甘露保育園」と同じ屋根の下で、様々な個性を持つ子どもたちが大切な子ども期を共に過ごしています。昭和34年9月1日「宝池園」として開園し、現在は「蓮の音こども園」に名称を変更しています。



【運動会】
月影体育館にて



蓮の音こども園の取組み

○お子さんの発達支援

お子さんの意欲や自信を育み、コミュニケーションの力を高めていきます。生活を営む主体として、身辺自立を促進し、地域の中の一員として豊かな体験を積み重ねていきます。

○ご家族と共に

育てにくさや関わりの難しい子育てにどう対応していくか、一緒に考えていきます。母子通園・父子通園を通じて、協働関係を築いていきます。

○地域と共に

蓮の音こども園が社会資源として、子育て支援の役割を行う観点から、【のびのび教室】の開催や、保育所等訪問支援を通じて、後方支援に取り組みます。※のびのび教室とは…主に就学前の親子を対象に遊びの教室を開催しています。発達に偏りや場に慣れにくいなどの発達課題を持つお子さんに対して、あそびの場の提案と小さな社会性を育てる活動を行っています。

【感覚統合の部屋】



スペースリング・ポニースイング・ボルダリング・肋木・ボールプールなどを用意し、これらを十分に活用して「子どもたちが能動的に動ける力」「身辺自立」「社会性」の育ちを高めていきます。



【乗馬】市民の森にて

“ポニーのミルクちゃん！
手のひらに人参を乗せて餌やりもします。”



「子どもたちの一日」

9:00	登園 朝のお支度・自由あそび・個別課題
9:50	朝会
10:00	主活動 庭あそび・散歩・制作・感覚統合・ふれあい遊び・リズム運動・水あそび・保育園交流 等
11:40	おいしい給食・歯磨き・午睡準備
12:30~14:00	お昼寝
14:15	午後のおやつ
15:00	降園



名称：蓮の音こども園
所在地：上田市中央5-9-29
定員：30名
電話：0268-25-3334
種別：障害児通所支援
児童発達支援センター（福祉型）

